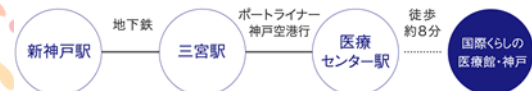


## アクセス

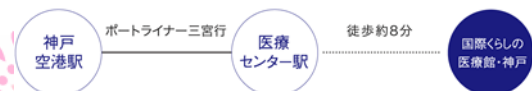
-Access Map-



### ■新幹線でお越しの場合



### ■飛行機でお越しの場合



### ■車でお越しの場合

三宮より国道2号線経由 約15分

## 国際くらしの医療館・神戸

## 国際くらしの医療館・神戸とは

-About AIR WATER International Advanced Medical Center @KOBE -

エア・ウォーターは、1929年の創業以来、社名に冠した空気や水などのさまざまな地球の恵みを 産業ガス、ケミカル、医療、エネルギー、農業・食品、物流、海水、エアゾールといった多彩な事業の展開を通じて、世に欠かせない役割を担うまでに成長しました。

国際くらしの医療館・神戸は、人々の健やかな「くらし」を生み出す研究開発拠点として、2019年5月に設立しました。ここでは、エア・ウォーターグループの取り組む新たな分野である歯科の再生医療、新しい視点での医療機器開発や医療関連サービスの創造、くらしに寄り添った医療を通じて健康長寿を実現する為の取り組みを行なっています。国内最大級の医療クラスターである神戸医療産業都市に位置し、遠方からのアクセスも良いこの地で、エア・ウォーターグループのさまざまな製品やサービスを実際に見て、触って、感じて、そこで生まれたニーズやアイデアを私たちの持つリソースと掛け合わせることでイノベーションを生み出す拠点として、在り続けます。

Meeting society's needs with nature's blessings.

 AIR WATER GROUP



 エアウォーター


国際くらしの医療館・神戸

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町1-3-1

お問い合わせ

<https://www.awi.co.jp/ki>



地球の恵みを、社会の望みに。  
 エアウォーターグループは  
SDGsに積極的に取り組んでいます

2020.7~9月号  
Vol.3

# 国際くらしの医療館・神戸 トピックス

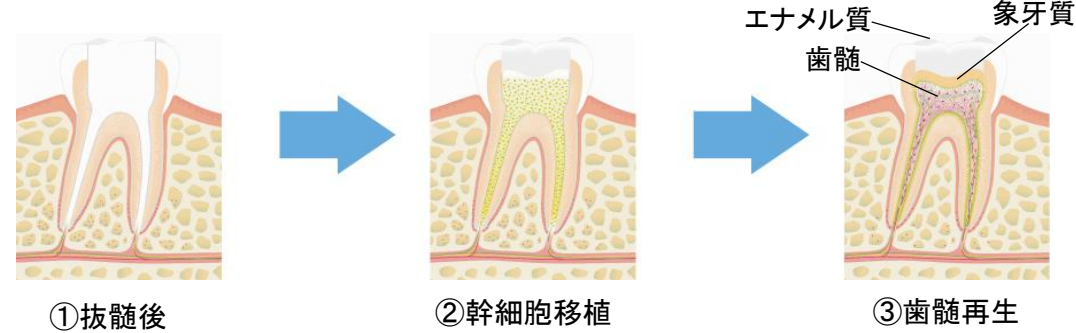
-AIR WATER International Advanced Medical Center @KOBE Topics-

4階で  
ご紹介

## 「歯髄幹細胞を用いた再生医療」を世界で初めて実用化！

不用歯から採取した歯の神経を培養し、治療を要する歯に移植する  
“**歯髄再生治療**” がついに始まりました。

エア・ウォーターグループ アエラスバイオ社と連携する「RD歯科クリニック」(当館4階)において、歯髄再生治療が実施できるようになりました。  
なお、今秋には歯髄幹細胞を培養後に管理が徹底した保管施設で液体窒素に入れて長期間冷凍保存する「**歯髄幹細胞バンク事業**」も立ち上げる予定です。  
不用歯を“未来を守る備え”として保管することで、人々の健やかなくらしに貢献していきます。



## 口腔ケア・訪問歯科・感染対策についてさらに紹介！



自分の歯で噛んで食事することで栄養を摂り、歯や口腔内のケアをしっかりと行うことで、健康維持や改善ができることが広く知られてきており、超高齢社会の中で、介護状態になってしまった人や自分で医療機関に行けない人のために、医師が自宅に訪問するニーズが高まってきています。  
さらに、医療現場における多職種連携の必要性や、感染対策の徹底が強く求められている現状を踏まえ、

エア・ウォーターグループとして「口腔ケア」「訪問歯科」「**感染管理**」にフォーカスし、口腔ケア、歯科商材、感染対策に関する商品や、それらを実践する方法について詳しくご紹介することにいたしました。プロジェクションマッピングでの説明に加え、パネルや商品現物を使ってわかりやすくご説明します。

# 体温検知機能付き顔認証システム：SenseThunder

1階で  
ご紹介

現在、従来の鍵やカードを使用したシステムから、非接触型の生体認証を中心とした次世代技術への移行期に差し掛かっています。特に顔認証システムは、最も有望なセキュリティシステムであると共に、さまざまな用途への展開も注目されています。

SenseThunderは顔認識AIと体温推定AIの組み合わせによりサーモグラフィで測定した体表温から誤差±0.3℃で体温を測定可能。

1階のエントランスホールで、最先端技術であるエア・ウォーターグループの顔認証システムをご体験いただけます。



新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症対策に！



## 遠隔診療支援システム「ノアロン」

5階で  
ご紹介



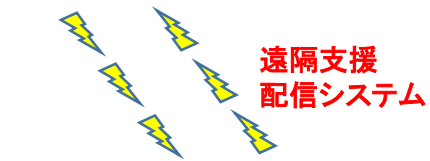
地域医療を支援するシステムで、医療支援センターと遠隔地の施設を結ぶネットワークを築きます。

医療従事者同士が患者情報をリアルタイムで画面共有することで、スタッフ間のコミュニケーションをサポートします。

- ① ICUに必要な多くの情報を1つの画面で確認する事ができます。これは複合的な情報を用い、専門的な判断が必要となるICUの医師にお役立て頂けます。
- ② 各社の医療機器情報を共通言語化するドライバーを用いることで、メーカー問わず接続が可能、ビューワーでの表示も同じです。例えばコロナ環境で普段お使いでない装置を用いる場合などでも、お役立て頂けます。



本部病院



遠隔支援  
配信システム



支援先病院

### フロアマップ -Floor Map-

